

第15回

構造形態の解析と創生

2020

Colloquium 2020
Analysis and Generation of Structural Shapes and Systems 2020

《開催趣旨》

近年の建築の設計プロセスにおける3D-CADやBIMの利用は、意匠、構造、設備、施工の連携を強め、また、これまで不可能であった複雑な形態の建造物の建設も可能にしました。また、デジタル・ファブリケーションの技術が普及し、建築のデザインに大きな変化を与えています。実現可能な建築表現の自由度が急速に増すなかで、建築物の形態をどのように決定すべきかという問題について、今後更に深く考えていく必要があります。

本コロキウムは2006年度から毎年開催しており、今年で15回目を迎えます。これまでに、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインといった建築構造物の形態を創り出すための理論・技術に関する研究や、実際のデザインへの応用事例などが数多く紹介され、活発な議論が展開されてきました。これらの理論・技術は一過性のものではなく、本質的なニーズの上に成り立った重要な建設技術であり、新しいコンセプトや最新のアルゴリズムなどを取り入れながら、議論を重ねて今後も発展させていく必要があります。

本年度開催する「第15回 コロキウム構造形態の解析と創生 2020」では、これまでと同様に形態創生の理論・技術に関わる研究者、技術者が一堂に会して最新の情報を交換すると同時に、理論・技術だけでなく、それらを具体的な建築物、プロジェクトなどに応用した事例紹介についても議論することで、これらの研究・技術分野が益々発展することを期待して開催されます。

《開催概要》

- 〈日時〉 2020年11月26日(木), 11月27日(金)
- 〈場所〉 Web会議システムによるオンライン方式での開催
- 〈主催〉 日本建築学会
構造委員会 シェル・空間構造運営委員会：構造形態創生小委員会
構造委員会 応用力学運営委員会：構造最適化と協創小委員会
- 〈参加費〉
・建築学会会員：4,000円 (資料集代含む)
・学生：1,500円 (資料集代含む)
・会員外：5,000円 (資料集代含む)
- 〈参加登録〉 下記URにて申し込みください。参加する個人ことに申し込みが必要です。
参加登録フォームURL：<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=636991>
申込期限は11/20(金)です。

《特別講演》

2020年11月26日(木)

- 13:20-14:20 藤井大地 (近畿大学)
「位相最適化手法を用いた建築構造の形態創生」
- 14:30-15:30 秋吉浩気 (VUILD)
「形態から社会へ」

《形態創生コンテスト2020 プレゼンテーション・公開審査》

2020年11月26日(木) 「グローバルでレジリエントなかたち」

15:40-17:30 プレゼンテーション

17:40-18:40 公開審査

審査委員長
加藤史郎 (豊橋技術科学大学名誉教授)

審査員
市川創太 (ダブルネガティブスアーキテクチャー、
都市研究室エイチシーラボ)

佐藤 淳 (東京大学)
館 知宏 (東京大学)

特別審査員 (特別講演講師)
藤井大地 (前掲)
秋吉浩気 (前掲)

《講演論文発表》

2020年11月27日(木) 9:00-17:00 全22講演 (予定)